



JAL不当解雇撤回ニュース

No444号 2015.05.20
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

3万人
結集

5.3 憲法集会に参加 平和といのちと人権を!

JAL 原告団は、日本国憲法の施行から68年を迎えた5月3日の憲法集会に、夏日となった横浜市臨港パークに集まりました。物販のテントでは、模擬制服に身を包んだ客室乗務員やパイロット原告が自主解決を訴えました。国会議員や支援者の方々、そしてOBらが訪れ、激励して頂きました。

新たな憲法集会



憲法記念日の5月3日これまで東京では集会の二つが別個に行われてきました。しかし、安倍政権の憲法無視・破壊の暴走が止まらないため、大きな共同で憲法集会を開催し、そこに平和やいのちや人権の問題で発言し行動する人びとや団体の結集を実現しようと、新たな「5・3憲法集会実行委員会」の結成に至り、今回を迎えました。

憲法を守ろう

会場には3万人が集まり、大江健三郎氏や護憲派の人々の発言に聞き入りました。大江氏はスピーチのなかで、安倍首相の発言と行動を批判し、平和と命の尊厳を基本に憲法を守ると述べました。

また、憲法学者の樋口陽一東大名誉教授は、「今の政治は憲法が目指してきた方向と正反対の方向に日本を引っ張り、憲法を破壊しようとしている」と糾弾しました。

その他に、民主党の長妻昭代表代行、共産党の志

位和夫委員長、社民党の吉田忠智党首も登壇し、「戦争立法反対の一点で協働し、安倍政権のたくらみを必ず打ち破ろうではありませんか」(志位委員長)と共闘を呼びかけました。

原告団も活躍

この集会には、原告が18人とCCU現役も参加しました。会場内に設置されたJAL原告団のテントには、黄色い幟旗が掲げられ、模擬制服を着用した原告がビラと風船の配布や物販を行っていました。

原告団を見つけた支援の方々からは、「最高裁の不当な決定にめげずに、職場に戻って下さい」、「あきらめずに最後まで支援するよ」などの心強い応援を頂きました。

メインステージとは別に、各地の合唱団もこの集会に参加していました。私たちJAL原告団フェニックス合唱団の部員も誘われ「あの空へ帰ろう」をはじめたくさんの歌と一緒に歌いました。集会が終わり、駅に帰る人々を歌で見送りを行なうと、近くを通る人たちからは、温かい声援やカンパなどを頂きました。本当にありがとうございました。



原告団のテント前



合唱団の見送りの様子